

No.
888

今号の主な内容

施政方針の内容
平成19年度予算の中身
山田町住民協働推進事業計画を策定
みんなのスペース
町のわだい
町議会議員選挙のお知らせ

やまだ
広報

2~5
6~7
8~9
10~11
12~13
14

関口児童館で最後の卒園式

4月から健全育成型の運営に切り替わる関口児童館で、3月15日に最後の卒園式が行われました。昭和43年の開館以来、373人の卒園児を送り出してきた関口児童館。式では、芳賀幸工館長から10人の園児全員に保育証書が手渡され、同館最後の園児が巣立っていきました。

4月1日号 2007

自治体と住民が協力し合う 住みよいまちづくりに全力

平成19年第1回山田町議会定例会が2月20日から3月9日まで開かれ、19年度の一般会計予算などが原案どおり可決されました。初日には沼崎喜一町長が「自治体と住民が知恵を出し合い、協力し合いながら『この町に住んでよかった』と考えるようなまちづくりに全力を傾注したい」と第8次山田町総合発展計画の6つの柱を基本に、本年度の基本方針を述べました。今号では、施政方針の内容と19年度予算の中身を紹介します。



施政方針の内容

施政方針を述べる沼崎喜一町長

平成19年第1回山田町議会定例会が開催されるに当たり、平成19年度における町政運営の基本的な考え方並びに主要な施策について申し述べます。

本年度は第8次山田町総合発展計画の2年目となります。発展計画に基づく「自主・自律・協働」のまちづくりを基本理念として「みんなで創る ひとと産業が元気なまち 山田」の目標

地域の特性を生かした産業振興で元気創造をめざすまち

春ガキ販路拡大キャンペーンを支援

県は昨年9月、地域の振興策として「県北・沿岸圏域における産業振興の基本方向―取組みの指針―」を示しました。策定に当たっては直接知事に要望を行い、漁協の地域営漁計画の策定、特用林産物のブランド化、金型関連企業の集積など、本町が求める産業振興策がおおむね組み入れられました。具体的推進体制として、県、町、産業関係者で構成する「地域産業戦略会議」

を設置し、工程表を共有して進行管理を行っていくこととしており、関係機関と一体となつて地域産業の振興に積極的に取り組んでまいります。

水産業については、ノロウイルス対策について国や県に対し、ウイルスの除去と不活化の研究促進などを継続して要望してまいります。「春ガキ」のおいしさを多くの人に知ってもらい、併せて販路を開拓するため、養殖業者と

連携し山田湾産「春ガキキャンペーン」などを支援してまいります。

漁家経営の安定支援については、漁業近代化資金の利子補給、カキ、ワカメ、コンブ養殖漁家が加入する特定養殖共済の掛金補助を継続して実施するとともに、新たにホタテ養殖漁家に対する掛金補助を実施してまいります。水産物の安定供給と衛生管理体制の強化、漁業系廃棄物の適正な処理を図るため、山田湾漁業協同組合の力キ殻破砕機、山田漁業協同組合連合会の製氷工場用電動フォークリフト、大浦漁業協同組合の魚類水揚げおよび選別作業用のベルトコンベヤーの整備、大沢漁業協同組合が計画している漁業系廃棄物堆肥化処理施設建設の早期実現、船越湾漁業協同組合が実施する海水殺菌装置の整備、織笠漁業協同組合が実施するふ化場取水用井戸増設事業に対して支援してまいります。

農林業については、リンドウ苗の購



入、栽培用資材、生産管理機械を整備し、ホウレン草などについてはパイプハウス、生産管理機械を整備してまいります。

商工観光業の振興については、町中小企業融資制度で運転資金、設備資金の融資額を増額し、新たに開業資金の融資を立ち上げ、融資制度の利用促進を図ってまいります。また、山田町工場誘致条例を改正するとともに、企業

環境にやさしい快適な生活基盤の整備で元気創造をめざすまち

公共下水道山田処理区の整備推進

三陸縦貫自動車道の「宮古道路」は昨年3月に、「釜石山田道路」は7月に起工式が行われました。宮古道路は宮古市金浜から同松山までの4・8キロが平成21年度の全線供用開始を目指し、釜石山田道路は両石トンネルと両石高架橋の大型工事が着工されました。引き続き山田までの早期着手を国および関係機関に強く要望してまいります。

東北横断自動車道釜石秋田線の仙人峠道路は3月18日に18・6キロの供用が開始され、同時に一部開通する上郷道路3・4キロとともに釜石遠野間の改良部分が一本に結ばれ、東北自動車道への乗り入れ時間の短縮が図られます。

県道については、宮古山田線は国道45号までの拡幅改良を、重茂半島線は急カーブ・急勾配改良、幅員拡幅などを県に要望してまいります。

立地補助制度を新たに設け、企業が利用しやすい環境を整備致しました。優良企業の誘致を進め、雇用の場の拡大におおむね努力してまいります。

観光は、観光客のニーズに対応した魅力ある観光地づくりに取り組むとともに「マリン・ツーリズム山田」とタイアップして、恵まれた自然環境と地域資源を有効に活用した体験型観光を推進してまいります。

町道細浦柳沢線については、県代行事業として採択されるよう、引き続き県に要望してまいります。

豊間根地区の石峠橋の橋りょう補修事業を実施し、長林大浦線局部改良事業については、平成20年度の完成を目指して整備してまいります。

柳沢北浜地区土地区画整理事業は、区画道路の整備とこれに伴う建物移転を進めてまいります。

下水道の整備については、山田処理

健やかで、安心できる暮らしの実現で元気創造をめざすまち

生活習慣病の「二次予防」に重点

健康づくりの推進については、近年、中高年の男性を中心に肥満の割合が増

達成に向け決意を新たにしております。しかし地方自治を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、行政サービスを維持・向上させていくためには行財政改革を進め、町民と行政が協働で役割と責任を分担するまちづくりが重要になるものと考えております。

予算編成に当たっては、徹底した行政改革と堅実な財政運営のもとに住民の要請に応えていくため、第8次山田町総合発展計画の施策事業を着実に推進するとともに、国庫補助負担金の改革、国から地方への税源移譲、地方交付税の見直しなどが町の財政に影響を及ぼすことを踏まえて、必要な財源の確保に努めてまいります。

以下、第8次山田町総合発展計画に掲げる領域に従い、平成19年度の施策について述べてまいります。

ンドルーム」の概念を導入した医療構造改革が平成20年度から展開されます。本町においても生活習慣病が死亡原因の6割を占めており、生活習慣を改善して病気を予防する「一次予防」に重点を置いた対策を進めてまいります。また、子供たちが虫歯や肥満傾向にあり、生活習慣、食習慣の基礎づくりや心身ともに健やかな子育てができる環境づくりに努めてまいります。

地域医療については、昨年11月に本町の医療の拠点として柳沢北浜地区土地画整理事業区域内に新築移転された県立山田病院がさらに地域総合病院として十分な機能が発揮されるよう、医師確保についても引き続き要望してまいります。移転後の旧山田病院跡地は町が取得することとしておりますが、建物についても利活用の可能性を検討しながら県医療局と協議を進めていく考えであります。

国民健康保険事業は、昨年の医療制



度改革により、生活習慣病の予防を中心とした医療費適正化対策の推進、医療保険者による特定健診・特定保健指導が義務化されました。本年度は、国が策定する特定健診等基本指針に即して、5年を1期とする特定健診等実施計画を策定致します。また、新たに岩手県後期高齢者医療広域連合が運営する後期高齢者医療制度については、広域連合と連携した管理システムを構築し、平成20年度の実施に向けて準備してまいります。

保育園については、延長保育、一時保育、休日保育などの子育て支援事業の充実にも努めてまいります。

子育て支援事業は子育てホームページを開設し、情報の発信や子育て支援の普及・啓発に努め、山田町次世代育成支援計画に基づく支援事業を推進してまいります。また、乳幼児、妊産婦母子家庭などへの医療費給付事業は継続して実施してまいります。

関口児童館は、従来の保育型を廃止し地域の児童を対象とした健全育成型として運営し、併せて山田北小学校児童を対象に放課後児童クラブを開設してまいります。

ひとり暮らし高齢者世帯などが増加することから「見守りネットワーク」事業を推進し、日常の安否確認を行うとともに、災害発生時における高齢者や障害者などの要援護者への支援体制の整備に努めてまいります。

介護サービス基盤の充実については、第3期介護保険事業計画に基づき高齢

意識の醸成については、女性の各種審議会や地域活動団体などへの積極的な登用・参画を推進するとともに、女性セミナーや生涯学習などにより、女性の社会参画と男女共同参画意識の高揚を図るための情報提供や学習活動の支援に努めてまいります。

住民参加と協働で元氣創造、自律をめざすまち

創意工夫された地域づくりを支援

住民協働の推進については、平成18年度に制定した住民協働推進支援事業補助金交付制度により、自治会などの創意・工夫された個性的な地域づくりを支援してまいります。

また、新たな取り組みとして住民協働で上豊間根自治会が実施するコミュニティ施設整備に対し補助してまいります。町の集会所施設の維持管理については、地元自治会などへの移行も含めて検討してまいります。自治会などが未組織の地区においては自主防災会の組織化を進め、自治会組織結成へと結び付けていきたいと考えております。行政の制度、政策などについて町民に情報提供を図り、町政への理解を深めながら住民協働を推進するため、町づくり出前講座を引き続き実施してまいります。

団塊の世代の受け入れについては、農林水産業就業希望者への研修制度、移住希望者へ短期・中期体験用宿舍の

国際交流の推進については、昨年11月にオランダ王国・ザイスト市の新市長を表敬訪問し、今後のジュニア使節団の受け入れと交流事業の継続実施について理解をいただきました。今後とも交流を広げるため民間団体の育成などに努めてまいります。



収納対策室を設置し、自主納税の促進と収納率の向上に努めます

身の丈にあった、健全な行財政で元氣創造をめざすまち

収納対策室を設置し滞納整理強化

健全で効率的な行財政の運営については、財政計画2006と整合する第8次山田町総合発展計画の施策事業を着実に推進するとともに必要な財源を確保し、町債の借入額についてはプライマリーバランスの均衡に努め、経常経費の圧縮・節減により、見込まれる財源不足額の縮小を図ってまいります。税源移譲に伴う収納業務の増大、また、昨年10月に設置された岩手県地方

税特別滞納整理機構との連携による滞納処理事務を推進するため、町の組織を見直し、税務会計課に収納対策室を

者の総合的な相談支援と運動機能や口腔機能および栄養改善の向上のための介護予防教室の実施と、さらに要支援者の自立に向けた予防給付などの推進に努めてまいります。また、地域密着型サービスとして小規模多機能型居宅介護施設の整備を促進してまいります。障害者福祉の充実については、障害者自立支援法に基づく障害者福祉計画による、自立支援給付事業・地域生活支援事業を推進してまいります。

手をつなぎ、未来への芽をばぐみ元氣創造をめざすまち

町中央公民館の改修工事を実施

人生を豊かにする生涯学習の推進については、平成19年度を初年度とする第8次山田町教育振興基本計画に基づき、各種生涯学習事業を推進してまいります。また、中央公民館は舞台装置をはじめ施設が老朽化し、活動の拠点、発表の場として支障が生じていることから、舞台装置の整備や冷暖房設備の更新など大ホール改修を実施してまいります。

児童生徒の登下校する際の安全確保については、本年度も「地域ぐるみの学校安全体制整備事業」によりスクールガードリーダーを委嘱し、取り組んでまいります。

施設整備については、豊間根小学校電気設備更新事業などを実施するとともに、学校建物耐震診断の結果報告が

防災活動の要である消防ポンプ自動車は第13分団を更新、防火水槽は田名部、大浦地区へ整備してまいります。防災意識の高揚を図るため、未組織地区への自主防災組織の結成に努めてまいります。また、地域防災活動力の充実を図るため、自治会などに防災資器材の配備を進めてまいります。

3月となっており、その対応を検討してまいります。

本年は、第60回東北高等学校相撲選手権大会並びに第59回岩手県民体育大会軟式野球競技一般B、第62回国民体育大会選考会軟式野球競技一般Bが本町で開催されることから、大会の成功を期して支援してまいります。また、老朽化した前須賀公園相撲場の改修や、各種野球大会開催に対処するため、本年度中に町民総合運動公園野球場にラバーフェンスを設置してまいります。

山田町の歴史を後世に伝える町史については、昭和61年に上巻、平成9年中巻が刊行され、この3月に、昭和30年から平成12年までの歴史を収録した下巻が配本の運びとなりました。

女性の社会参画拡大と男女共同参画

実施してまいります。

本年度から団塊の世代が退職することになります。町民サービスや事務に支障が生じないよう、後継者の育成などに努めてまいります。

◆ ◆ ◆

以上、平成19年度における主要な施策について申し述べてまいりました。

平成7年の地方分権推進法の施行により「国と地方を対等・協力の関係」に変えたとされましたが、平成14年からの「三位一体の改革」を経ても本来私たちが求め続けてきた地方分権は実現しておらず、なお「未完の改革」といわざるを得ません。当然、国に対しては引き続き豊かな自治と新しい国のかたちを求めて行動していかねければならないと考えております。住民に近い空間にできる限りの力を集める分権改革はこの時代の潮流であります。私は「住民に近ければ近いほど望ましい」「(ニア・イブ・ベター)の考えを基調にして、自治体と住民が知恵を出し合い、協力し合いながら「このまちに住んでよかった」と思えるようなまちづくり」に全力を傾注する覚悟であります。

終わりに、本年4月は統一地方選挙が執行されます。地方分権を巡る三位一体改革の嵐の中、激動の4年間でありました。しかし、厳しい環境にあっても自立の道を歩んでおりますのも、町民の負託を受けた議員各位の町政に対するご理解とご支援の賜物であります。ここにあらためて深く感謝申し上げます。施政方針とさせていただきます。

平成19年度予算の中身

一般会計

平成19年度の町一般会計予算の総額は、歳入、歳出それぞれ65億9,125万円。前年度当初予算と比べて1.3%の増となり、6年ぶりのプラス予算となりました。

歳入では、所得譲与税から住民税への税源移譲に伴い地方譲与税が前年度比59.5%減、町税は同14.2%の増となっています。

歳出では、土木費が前年度比16.7%の減ですが、教育費は同12.5%の増、総務費は同11.0%の増となっています。

町の財政事情の厳しさに変わりはありませんが、財政運営の堅実さを保ちつつ、第8次山田町総合発展計画を着実に実行し、元気なまちづくりをめざしていきます。

■歳入の状況 (単位：万円、%)

歳入				
区 分		予算額	構成比	伸び率
自主財源	町 税	115,298	17.5	14.2
	繰 入 金	72,395	11.0	8.2
	分担金・負担金	9,122	1.4	0.1
	使用料・手数料	7,087	1.1	△0.2
	諸 収 入	3,780	0.6	31.7
	財 産 収 入	1,020	0.2	135.0
	繰 越 金	10	0.0	0.0
	寄 附 金	0	0.0	0.0
計		208,712	31.7	11.4
依存財源	地 方 交 付 税	284,600	43.2	1.1
	町 債	53,490	8.1	5.6
	県 支 出 金	42,808	6.5	1.8
	国 庫 支 出 金	41,356	6.3	△11.9
	地 方 譲 与 税	8,260	1.3	△59.5
	そ の 他	19,899	3.0	△8.3
	計	450,413	68.3	△2.7
合 計		659,125	100.0	1.3

■歳出の状況 (単位：万円、%)

歳			出		
区 分			予算額	構成比	伸び率
民 生 費			165,903	25.2	1.5
公 債 費			107,573	16.3	6.8
総 務 費			93,396	14.2	11.0
土 木 費			88,710	13.5	△ 16.7
教 育 費			66,204	10.0	12.5
衛 生 費			51,408	7.8	△2.5
消 防 費			37,883	5.7	6.7
農 林 水 産 業 費			28,812	4.4	3.9
議 会 費			10,765	1.6	△3.2
商 工 費			7,859	1.2	△ 13.3
労 働 費			111	0.0	△0.4
災 害 復 旧 費			1	0.0	0.0
予 備 費 ・ そ の 他			500	0.1	0.0
合 計			659,125	100.0	1.3

町の全会計

町の平成19年度一般会計予算と各特別会計、水道事業会計を合わせた予算総額は134億4,359万円です。

ここでは、本年度行われる主な事業を担当課ごとに紹介します。

◆平成19年度各会計の予算額

- ・一般会計……………65億9,125万円
- ・国民健康保険特別会計……………25億9,716万円
- ・老人保健特別会計……………18億395万円
- ・介護保険特別会計(事業勘定)……………13億160万円
- ・介護保険特別会計(サービス事業勘定)……………400万円
- ・簡易水道特別会計……………8,679万円
- ・漁業集落排水処理事業特別会計……………1億3,217万円
- ・公共下水道事業特別会計……………4億909万円
- ・水道事業会計……………5億1,758万円

※水道事業会計には、収益的支出予算と資本的支出予算の合計額を掲載しています。

総務課

- ◆住民協働推進費……………1,827万円
- 住民協働推進支援事業補助金150万円やコミュニティ施設整備助成事業補助金1,600万円が計上されています。
- ◆鈴木善幸元内閣総理大臣を顕彰する会補助金 100万円
- ◆広報やまだ印刷費……………676万円

選挙管理委員会

- ◆参議院議員選挙費……………1,472万円
- ◆県知事及び県議会議員選挙費……………1,356万円
- ◆町議会議員選挙費……………1,394万円

企画財政課

- ◆国土調査費……………1,101万円
- ◆電算管理費……………6,498万円
- 電算システムのアウトソーシングに伴うオープンシステムのリース料4,037万円や、同システムの保守委託料628万円が計上されています。

住民生活課

- ◆国民健康保険事業……………25億9,716万円
- 国民健康保険は病気やけがに備えて加入者の皆さんがお金を出し合い、病院にかかるときの医療費に充てる支え合いの制度です。
- ◆老人保険事業(医療費関係)……………18億395万円
- 老人保険制度は75歳以上(重度障害者は65歳以上)の高齢者が、病気になっても安心して医療が受けられる制度です。
- ◆海を守る推進費……………346万円
- ◆塵芥し尿処理費……………2億9,400万円

産業振興課

- ◆新しいわて農業担い手支援総合対策事業補助金……………425万円
- りんどう苗、栽培用資材、生産管理機械の整備などに対する補助金です。
- ◆しいたけ等特用林産物生産施設整備事業補助金……………260万円
- 散水施設や乾燥機械などの整備に対する補助金です。
- ◆森林整備地域活動支援交付金……………310万円
- 森林の巡視や整備など、適正な維持管理を行う団体や個人の活動に対する交付金です。
- ◆かき共済掛金補助金……………316万円
- 昨年12月からのカキの風評被害により大きな打撃を受けたカキ養殖漁家の皆さんに対し、本年度はかき共済掛金の補助率を5%から10%に引き上げます。
- ◆定置網復旧支援資金利子補給補助金……………522万円
- 昨年10月の低気圧により、被害を受けた定置網の復旧資金に対する利子補給の補助金です。
- ◆漁業経営構造改善事業費補助金……………2,500万円
- ◆さけ・ます増殖施設整備事業費補助金……………2,700万円
- ◆水産経営活性化対策事業費補助金……………592万円
- ◆漁業系廃棄物処理施設整備事業費補助金……………510万円
- 水産物の安定供給と消費者が求める「安全で安心できる」水産物を提供するため、町内各漁協などが実施する施設整備への補助金です。



養殖ワカメの出荷作業の様子 (田の浜地区)

税務会計課

- ◆不動産鑑定評価委託料……………693万円
- 3年ごとの固定資産税額の見直しに伴い、税額決定の基礎となる町内全域の土地の鑑定を行います。
- ◆住民税等申告支援システムリース料……………131万円

消防防災課

- ◆宮古地区広域行政組合(消防関係)負担金……………3億1,505万円
- ◆消防施設費……………2,880万円
- 本年度は消防ポンプ車購入費(13分団)1,700万円や防火水槽築造工事費(大浦、田名部地区)1,130万円が計上されています。

地域整備課

- ◆道路維持費……………8,513万円
- ◆道路新設改良費……………6,001万円
- ◆土地区画整理費……………2億8,521万円
- ▷宅地整地や細浦柳沢線、街路などの工事費…9,098万円
- ▷建物等移転補償費…1億7,521万円
- ◆公共下水道事業……………4億909万円
- 快適な生活環境と海や河川の水質保全を目的に、船越地区と山田地区で公共下水道事業を実施しています。



下水道工事の様子 (川向地区)

保健福祉課

- ◆町社会福祉協議会補助金……………993万円
- ◆障害者福祉費……………2億9,287万円
- ▷重度心身障害者医療給付費…4,231万円▷障害者自立支援給付費…1億9,532万円
- ◆老人福祉費……………3億4,796万円
- ▷岩手県後期高齢者医療広域連合負担金…699万円▷老人保護措置委託料…1,462万円
- ◆民間保育所運営委託料……………2億9,336万円
- ◆延長保育促進事業補助金……………740万円
- ◆介護保険事業……………13億160万円
- 歳出総額の96.1%を占める保険給付費は12億5,050万円で、訪問介護や通所介護、施設介護など各種サービス費用に充てられます。

教育委員会

- ◆小中学校教育用パソコンリース料……………2,454万円
- ◆スクールバス運行委託料……………1,288万円
- ◆公民館費……………9,155万円
- 中央公民館舞台装置改修工事費7,623万円や各種公民館設備の保守点検委託料417万円を計上しています。
- ◆人づくり事業費……………870万円
- ジュニア海外使節団派遣事業の旅行业務委託料、国内外研修事業補助金などを計上しています。
- ◆基地周辺屋外運動場設置工事費……………2,295万円
- 総合運動公園野球場の外野フェンスに危険防止のためラバーフェンスを設置します。

山田町住民協働推進事業計画を策定

住民が主役のまちづくりへ



大人から子供まで誰もが暮らしやすいまちづくりを進めるため、みんなで力を合わせてこの計画実現に取り組みましょう（昨年の町民体育祭の様子）

町では「山田町住民協働推進事業計画」を策定し、4月1日から施行します。同計画は住民同士、住民と行政が協力し合う「協働」のまちづくりを進めるための施策や取り組みを示したもので、自治会活動への補助やコミュニティ施設整備の支援策などが盛り込まれています。かつて地域社会に存在していた「助け合い・結い」の精神——。現代社会で薄れつつある、人と人とのつながりが地域づくりに求められています。

「山田町住民協働推進事業計画」は、住みよい地域をつくり、住民と行政が協力し合うまちづくりを進めるため、昨年12月から住民協働推進計画策定委員会（濱登長一郎委員長・委員15人）が3度にわたる検討を重ね、策定されたものです。

同計画は、住民協働を推進するための施策や、新たな地域づくりを進めていくための取り組みについて示したものです。

今、求められる住民の力

かつて、日本の地域社会には困ったときに人々が力を貸し合い、足りないところを補い合う「助け合い・結い」の精神がありました。しかし、戦後復興期

から高度経済成長期を迎え、経済活動中心の生活や全国画一的なまちづくりが進められると、人々からは地域づくりや地域活動への関心が次第に薄れ、人と人との結び付きが希薄なものになってしまいました。

また、経済成長に伴い、情報化、少子高齢化、環境問題などわたしたちを取り巻く社会も大きく変化。それに合わせて住民のニーズもより高度になり、また多様になってきました。

今後ますます拡大するニーズに的確に対応するためには、行政が一方的にサービスを提供するという仕組みから、住民と行政が役割を分担しながら公共サービスを提供していくという

仕組みに変わっていく必要があります。

そのような中で住民同士、住民と行政が協力し合い、地域の課題を解決していく「住民協働」の力が今、求められています。地域の特性を生かした個性豊かなまちをつくるためには、地域を知り、地域に愛着を持つ住民の力が欠かせません。住民の皆さんの意見やアイデアを尊重し、住民と行政と一緒に考え、共に汗を流して地域づくりを進めることが必要とされています。

本町の自治組織の現状

平成19年3月1日現在、本町の自治会やコミュニティ組織などの数は19団体で、町内203行政区中、193行政区6737世帯が加入しており、町全体の組織加入率は93・1%となっています。残る10行政区には自治会が組織されていませんが、町内会として存在している地区もあります。

自治会が実施している主な事業には▽地域の美化活動▽慶弔事業▽町民体育祭への参加▽盆

踊り、芸能大会の開催——などがあり、地域によっては防災活動への取り組み、児童と高齢者が触れ合う世代間交流会など個性的な活動を行っている地区もあります。

5つの施策で協働推進

同計画では、住民協働により新しい地域づくりを進めていくため、次の5つの基本施策を計画しています。

▽コミュニティ施設整備の支援 地域づくりの活動拠点となる集会所を住民が主体となつて整備する場合に、その支援を行います。

▽住民協働推進支援事業 特色ある地域づくり活動を推進するため、自治会などの活動に補助を行います（上表参照）。

▽学習機会の情報提供 地域づくり活動に関する学習の機会や情報の提供を行います。

▽協働推進体制の整備 昨年4月に設置された住民協働推進室が中心となり、行政と住民の協働に取り組みます。また、自治会などが組織されていない地区での組織の立ち上げを支援します。

▽集会所の管理運営方法の検討 地域の皆さんが利用しやすい集会所とするため、自

治会などで管理運営する方法を検討していきます。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

今必要とされているのは、住民の皆さん一人一人の力です。自分の住む地域を見詰め直し、何をしなければならぬかを考え、自らが主役となつてまちづくりを実践していく「住民協働」が始まるうとしています。

皆さんが「住んでよかった」と思える地域をつくるため、この計画の実現に向けてみんなで取り組みましょう。

◆問い合わせ 役場総務課住民協働推進室（☎82-3111 内線440）へどうぞ。

自治会などの活動に補助金

町では、4月1日から自治会などの活動に対し、補助金を交付します。山田町住民協働推進事業計画により設けられたもので、地域づくり活動や従来の行政サービスを自治会などが実施するものに交付されます（右表参照）。

本年度（4月1日～来年3月31日）に行われる事業の申請の受け付けを6月29日まで行います。補助金の交付を希望する団体は期日までに申請書を提出してください。

◆対象団体 自治会、コミュニティ、自主防災組織、NPOなど（産業団体など営利法人は対象外です）

◆補助内容 審査委員会により事業内容などが審査され、認められた費用の5分の4以内の額が交付されます。

※補助金は団体ごとに交付されますが、年間で1団体に交付できる金額の総額には上限があります。対象世帯数により異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

◆申請先・問い合わせ 役場総務課住民協働推進室（☎82-3111内線440）へどうぞ。

◆対象となる事業内容の例

区分	事業内容の例
地域づくり	地域づくり計画の策定・周知、地域ワークショップの開催、地域性を生かしたイベントの開催など
地域福祉	各種健康づくり運動、世代間交流活動、地元食材を使用した料理教室
環境衛生	ごみ減量化と適正分別への取り組み、ごみステーションの適正管理、廃棄物の不法投棄監視活動、買い物袋持参運動など
生涯学習・生涯スポーツ	お祭り・盆踊り大会の開催、地域リーダー研修会への派遣など
防災・安全	地域での避難訓練、防災資器材の整備、道路の草刈りや除雪、登下校時間帯の地域内の見回りなど
産業振興	地場製品の消費拡大や生産意欲の向上に関する取り組みなど

まちづくり出前講座のご利用を

町職員が制度や施策を説明

町では、昨年10月から町職員による「まちづくり出前講座」を実施しています。同講座は、町で行うさまざまな制度や政策について町民の皆さんに情報を提供し、広く町政に関する理解を深めて、住民協働を推進することを目的としています。

町内に住む5人以上の団体やグループなどであればどなたでも開催することができ、講座の内容は受講する皆さんのご要望に応じて、各担当課の職員が説明にお伺いします。なお、この講座は皆さんの相談や要望などをお聞きするものではありませんのでご理解をお願いします。

◆開催できる時間 ▷平日…午前10時～午後9時▷土曜日・日曜日・祝日…午前10時～午後4時

※開催時間は講座1回につき原則2時間以内としてください。

◆開催場所 町内の公共施設や事業所の会議室、学校など（個人のお宅では行いません）

※会場の確保や開催告知など、講座を行うための準備は主催者側で行ってください。

◆申込方法 役場総務課、住民生活課、役場各支所に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、開催を希望する日の2週間前までに提出してください。

◆申込先・問い合わせ 役場総務課住民協働推進室（☎82-3111内線440）へどうぞ。

●ご存じですか？●

交通安全協会の見舞金制度

従来、自動車運転免許の更新時に交通安全協会に加入していただいた方には全国道路地図を差し上げてまいりましたが、今年1月から方針を変えて、シートベルトを着用して運転または搭乗中に不慮の事故に遭った場合には、いささかではありますが、最高80万円の見舞金が支払われる保険制度に変わりました。単に補償が目的ではなく、運転者として万一不慮の事故に遭ったとき、少しでもお手伝いができるように改定されたものです。補償期限は免許証の有効期限と同じです。免許の更新時には交通安全協会へのご協力と安心を持って運転ができるよう、皆さんごぞって加入されることを願って、遅ればせながらお知らせ致します。

◆問い合わせ 宮古地区交通安全協会山田支会 (☎82-0204) へどうぞ。

イラスト



みんなのスペース



はこいし まなちゃん
(山田町第一保育所・5歳)

わたしのゆめ

大きくなったら保育園の先生
になって、保育園のみんなと一
緒に遊びたいな。

古里への便り②



ふる里山田同郷の会副会計
埼玉県所沢市
佐藤 豊子さん(59歳)
(飯岡出身・旧姓山田)

山田の皆さまこんにちは。広報やまだの紙面に載せていただきありがとうございます。43年前、私は同級生たちと一緒に集団就職の汽車に乗り、大勢の方に見送られて山田の駅を後にしました。上野駅に着いたのが夜の9時を過ぎていたのを覚えています。井沢八郎さんの「あゝ上野駅」の曲が流れていたところです。上京してからは働きながら夜学に通う日々を過ごしました。時々寮生活している私に母から山田でとれたスルメや干のり、山田せんべい、塩かぜ

投書

どんなことでも結構です。
どしどしお寄せください。

趣向凝らした演芸会に感激

2月25日、風が吹く肌寒い中、船越漁村センターにおいて大演芸会が開催されました。保育園児や各クラスの大人たちによる演芸は見事で、感激しました。大人たちの趣向を凝らした

踊りやカラオケはユーモアたっぷり、その出来栄は今でも脳裏に焼き付いています。あらためて演芸会に出演する方や大会を運営する方など関係者の苦労が分かりました。

者の方々は何かと苦労があると思いますが、この演芸会が継続することを願っています。
山崎泰司(船越・61歳)

子育て支援センターに感謝

菜の花が咲き、桜の開花も間近となり、千葉は春一番を迎えようとしています。織笠保育園の先生方、「わいわいキッズ」に集う皆さんにおかれましては、

お変わりなく元気いっぱいにお過ごしのことと存じます。

さて、私たちが山田に居りましたときには、大変お世話になりました。転勤したばかりで山田のことが何も分からない私たち親子にとって、子育て支援センターは心のよりどころでした。いつも笑顔で迎えてくださる先生方、自然に話し掛けてくれる保育園の子供たち。すぐに緊張も解けて支援センターに通うことがとても楽しくなりました。そして支援センターを介して、たくさんのお友達ができました。山田で充実した生活ができたのは織笠保育園の皆さんと支援センターのお陰だと心から感謝しています。

らまた山田へ訪れたいと思っております。

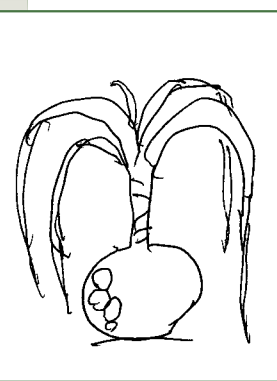
最後にありますが、インフルエンザが流行っているようですので、先生方もお体を大切に。自愛なさってください。千葉の方へいらっしゃることがありましたら、ぜひ自宅にも足をお運びください。お待ちしております。

元山田町子育て支援センター利用者親子(千葉県在住)

偽海葱のむかごプレゼント

偽海葱(オーニソガラム・コウダタム)の「むかご」を差し上げます(一人3個)。大きさは1センチほどでピンポン球ぐらいのものもあります。偽海葱はタマネギのような球根を地上部分に出して生育するおもしろい形をした植物です。親球の周りに小さな子供(むかご)がたくさんできて増えていきます。南アフリカ原産で寒さに弱いので冬は室内で管理します。希望の方は80円切手を貼った返信用封筒を

カキまつり
山田のカキはノロがなし
風評被害を一緒に晴らす
大川ヒメ子(大沢・62歳)
驚いてカレンダールはぐ
誕生日啓蟄ならぬ
我もうらうら
大町テイ子(大沢・?歳)
町のプロ
工場用地でミスをやり
佐藤兼男(荒川・80歳)
春雷に
目すいの我も逃げまどう
白杖握り家路を急ぐ
菊地孝進(船越・85歳)
まなび舎の
未練を胸に若うど等
親もとあとに旅立ちの春
齋藤忠雄(船越・81歳)
仏さまお顔はやさし春彼岸
ペンネーム・夢子
(田の浜・65歳)





今月の題字
なる み
田村成美さん
(山田中1年)

町のわだい

山田民謡伝承会が大活躍 民謡大会で4人が上位入賞

3月11日、遠野市で開かれた市長杯争奪民謡大会で、山田民謡伝承会（阿部賞会長・会員10人）の会員4人が上位に入賞する活躍を見せました。大会には県内からのど自慢39人が参加、自慢の歌声を競いました。結果、壮年の部で佐々木糸子さん（船越・61）、中年の部で佐々木ゆみ子さん（船越・48）がともに優勝したほか、少年少女の部で佐々木あすかさん（大槌町・14）が準優勝、高年の部で阿部賞さん（大沢・73）が3位に入賞しました。また、佐々木ゆみ子さんは部門別の優勝者と上位高得点者で争われる総合優勝にも輝いています。



全国小・中学校新聞コンクール 大沢小「海よ光れ」がW受賞

毎日新聞社などが主催する第56回全国小・中学校・PTA新聞コンクールで、大沢小学校の学校新聞「海よ光れ」が2つの賞を受賞しました。同コンクールの小学・学校新聞の部には全国から1,135点の応募があり、大沢小は平成18年4月から12月発行分を出品。審査の結果、同紙は見事毎日小学生新聞賞と新友会パピルス賞に輝きました。「海よ光れ」は大沢小の児童会執行部が月刊で発行する学校新聞で、平成16年9月に創刊。児童自らがテーマを決めて取材から記事作りまでほとんどを行っており、児童らは全国入賞の快挙を喜び合っていました。

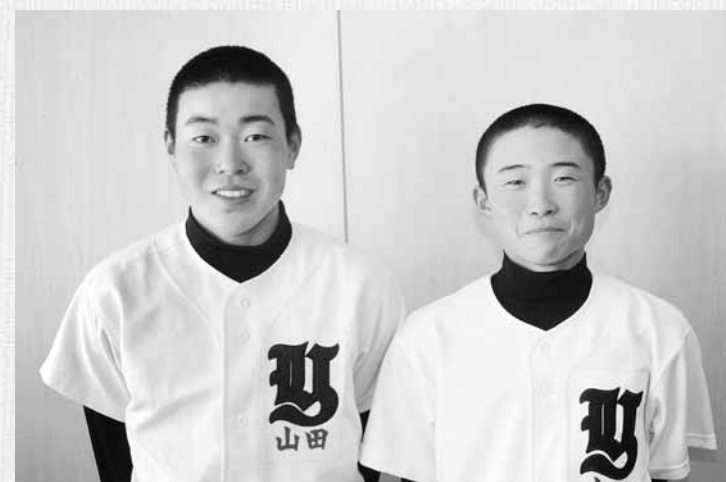


ガールスカウト 子供の居場所づくり事業 児童向けに国際理解の講演

3月17日、ガールスカウト県第28団（織笠貞団委員長）主催の「おてんばクラブ」が開催されました。文部科学省が進める子どもの居場所推進事業により実施されたもので、会場の町中央コミュニティセンターには団員や一般参加者18人が来場。風船口ケットなどのクラフト作りを行った後、山田町国際交流協会の中山利彦さんによる講演が行われました。中山さんは「世界中には、悪い人たちがたくさんいて、とても生活に困っています。皆さんが安全な日本に暮らしているということは、幸せなことなんです」と世界の国々の様子を話していました。

山田中・豊間根中の球児が活躍 選抜チームで堂々のプレー

第5回東北中学校選抜野球大会に山田中3年の鳥居輝君と佐々木拓哉君が本県選抜として出場しました。大会は3月17日と18日に仙台市で開催され、東北各県から8チームが参加。本県選抜は初戦で仙台市選抜（宮城県）を下し、続く準々決勝で招待チームの松戸市選抜（千葉県）と対戦しました。結果、惜しくも敗れましたが、鳥居君と佐々木君は2戦とも出場し、堂々としたプレーが随所に光っていました。鳥居君は「岩手にはいないタイプの選手のプレーを見て学ぶことが多かった」、佐々木君は「この大会で経験したことをチームで生かしたい」と次の大会に向け、意欲を燃やしていました。また、3月25日から千葉県千葉市などで行われたK-Ball全国中学生選抜野球大会に豊間根中3年の畠山大生君、卵名根口東君、及川翔太君の3人が宮古選抜チームとして出場。惜しくも初戦で鹿島クラブ（茨城県）に敗退しましたが、元気いっぱいのプレーを見せてくれました。



東北中学野球選抜大会に出場した鳥居輝君＝写真左＝と佐々木拓哉君



K-Ball全国中学生選抜野球大会に出場した畠山大生君＝写真左＝、卵名根口東君＝写真中＝、及川翔太君



カキむき体験では真剣な表情で作業に取り組んでいました(写真上)／カキの中華炒めの試食を味わう参加者(丸写真)



販売コーナーではカキなどの特産品が買い求められていました

三陸山田カキまつりに15,000人 旬の味覚を思う存分堪能

3月18日、山田の魅力発信実行委員会が主催する三陸山田カキまつりが開催され、大勢の観光客などでにぎわいました。三陸山田でんご盛りフェスタ2006の通年事業の一環として開催されたもので、今年で3回目となります。会場の大沢漁協荷捌所には県内外から15,000人が来場。販売コーナーでは殻付きカキやむきカキなどの水産物や特産品が並び、買い求める人たちが活気にあふれていました。カキ・ホタテすくい体験やちびっこカキ釣り大会、養殖いかだの見学などの体験コーナーも軒並み大盛況で、カキむき体験では、参加者は慣れないナイフの扱いに苦戦しながらも作業に取り組んでいました。また、カキ汁やカキグラタン、ジャンボ鉄板で作るカキの中華炒めの試食コーナーには長蛇の列ができ、バーベキューコーナーでは買い求めた水産物をその場で焼いて食べるなど、来場者は旬のカキの味覚を存分に堪能していました。



明日の山田を託す町民の代表を選ぶ大切な選挙です。棄権することなく投票に行きましょう（平成15年4月の同選挙）

町議会議員の選挙

投票日は 4月22日です 貴重な一票を投じましょう

町議会議員の選挙が4月17日告示、4月22日を投票日として行われます。今回は、町の進むべき方向性を決める町民の代表を選ぶ、大切な選挙です。候補者の意見に耳を傾け、あなたの声が反映されるよう、貴重な一票を投じましょう。

今回の選挙は、投票用紙に候補者の氏名を記入する方式で、選挙で選ばれる議員の定数はこれまでより2人減の18人です。4月22日の投票時間は午前7時から午後6時までで、投票所は下表の25カ所となっています。投票に出掛ける際は、入場券を忘れずに持参してください。今回の選挙で投票できる人は次に該当する人です。

▽昭和62年4月23日以前に生まれた人で、平成19年1月16日

◆投票所一覧表

投票区	投票所
山田第1	山田漁村センター
2	町中央公民館
3	北浜防災センター
4	さくら幼稚園
5	関谷林業担い手センター
6	関口農業担い手センター
船越第1	船越防災センター
2	山の内生活改善センター
3	船越漁村センター
4	大浦漁村センター
5	小谷鳥コミュニティセンター
織笠第1	織笠コミュニティ細浦ブロックセンター
2	織笠漁協水産倉庫
3	旧岩手宮古農協織笠支店
4	猿神農業担い手センター
5	田子の木生活改善センター
6	織笠コミュニティ外山ブロックセンター
大沢第1	ふるさとセンター
2	大沢漁協新倉庫
豊間根第1	豊間根生活改善センター
2	農村婦人の家
3	田名部林業担い手センター
4	上豊間根青年会館
5	荒川農業構造改善センター
6	馬鞍コミュニティセンター

までに転入届けをし、引き続き住民基本台帳に登録されている人（投票日までに町外に転出する人は投票できません）

※町内で転居をする予定の方は次の投票所で投票することになりますので、注意してください。

① 4月16日までに届け出をした人：新住所地で投票

② 4月17日以降に届け出をした人：旧住所地で投票

期日前・不在者投票の利用

仕事や冠婚葬祭、旅行などで投票日に投票に行けない人は、期日前投票・不在者投票をご利用ください。

◆期日前・不在者投票の期間
4月18日～21日

◆時間 午前8時半～午後8時

（土曜日と同じです）

◆場所 役場2階特別会議室

◆郵便による投票

身体障害者手帳または戦病傷者手帳の交付を受けている人、障害の等級が一定以上の人、介護保険の被保険者証の要介護状態区分が「要介護5」である人は郵便による投票ができます。

同制度で投票する人は、町選管から交付された郵便投票証明書を提示の上、4月18日までに投票用紙を請求してください。※郵便投票証明書をお持ちでない方は、町選管へ交付の申請をしてください。

■開票 即日開票です。当日の午後7時半から山田南小学校体育館で行います。

◆問い合わせ 町選挙管理委員会事務局（☎82-3111 内線411）へどうぞ。

① 企業立地補助金交付制度を開始 固定資産投資額の一部を助成します

町では、4月1日から企業立地補助金交付制度を開始します。これは、企業の立地を促し産業の振興と雇用の拡大を図るため新たに設けられたもので、企業が町内に工場などを新設、増設する場合に補助金を交付します。

同制度による補助を受けるためには、申請書類を提出し、工事を着手する30日前までに町の認定を受ける必要がありますので、希望する企業は事前にご相談ください。

◆**対象業種** 製造業、ソフトウェア業、自然科学研究所

◆**設置場所** 工場適地、農工団地、都市計画工業系地域、県や町が造成した工業団地など

◆**補助金額** 固定資産投資額の10分の2以内（上限1億円）

◆**対象となる工場などの規模**

- ・新設…固定資産投資額が5,000万円以上で、製造業は新規常用雇用者数が10人以上（操業開始後5年以内に20人以上に増員する計画であること）、ソフトウェア業と自然科学研究所は同雇用者数が5人以上であること
- ・増設…固定資産投資額が1億円以上で、同雇用者数が10人以上であること（増設の補助制度は平成23年3月31日に終了します）

※固定資産投資額とは、土地、家屋や償却資産の取得に要する経費の総額です。

② 工場誘致条例を改正し基準を緩和 優遇措置がより受けやすくなりました

町では、4月から工場誘致条例を改正し、固定資産税減免の基準引き下げや利子補給の対象を拡大し、優遇措置を受けやすくなりました。

企業が町内に工場を新設または増設した場合、町では工場誘致条例に基づき、固定資産税の免除や減額、借入金の利子の補助を行っています。

改正の主な内容は、工場新設の投下固定資本の基準を3,000万円から2,000万円に引き下げたほか、利子補給では敷地の取得や造成のための借入金に限定されていたものを、建物や機械、装置などの購入資金も対象とし、基準を緩和しました。工場の新設や増設を考えている企業は、同制度の利用をご検討ください。

◆**対象となる工場の種類** 製造または加工

◆**対象となる工場の規模**

- ・新設…投下固定資本2,000万円以上で、新規常用雇用者数5人以上であること

- ・増設…投下固定資本1,000万円以上で、新規常用雇用者数3人以上であること

※投下固定資本とは、工場を設置するため取得した固定資産で、課税対象になるもののうち事業に使用する土地、建物、機械、装置などが含まれます。

◆**固定資産の減免**

- ・対象…投下固定資本の固定資産税課税額
- ・内容…操業開始後3年間は全額免除、4年目は80%減額、5年目は50%減額（6年目以降は通常どおり課税されます）

◆**借入金の利子補給**

- ・対象…建物、機械、装置、工場敷地の取得や造成に要する借入金（上限2億円）
- ・内容…借り入れ利率（1.8%上限）の利子分を補助
- ・期間…3年間

◆**申込先・問い合わせ** 役場産業振興課商工観光担当（☎82-3111内線234）へどうぞ。

町長室から

異常気象による記録的な暖冬かと騒がれながら冬が去り、春の足音が聞こえてきそうにみえました。3月10日にはわが家の畑に芽を出したフキノトウのてんぷらでいち早く春を賞味しましたが、その後は冬將軍も意地を見せたいのか寒い日が続きました▼18日の力キまつりも晴天には恵まれたものの風が強く寒い一日となりましたが、前年を大きく上回るお客さまがみえられ大盛況でした。昼過ぎまで客足が途切れず、私もうれしくて会場を何回も巡回していたのですが、気の緩みか風邪をひいてしまいました。反省しきりです▼風評被害により力キ生産に大打撃を受けたこのシーズンでしたが、山田の力キのおいしさをあらためて知っていただくこのイベントがますます大切なものになると思われれます。今回のPR活動を多くのマスコミに取り上げていただき、情報の持つ力も知らされました。

山田町長 沼崎喜一

限度額適用認定証の交付

4月から70歳未満も対象に



4月から国民健康保険の限度額適用認定証が70歳未満の方にも交付されます。

限度額適用認定証は、国保に加入している方が入院した時に病院の窓口で提示すれば、月単位の窓口負担が一定の限度額（下表のとおり）にとどめられ、窓口で多額の現金を支払う必要がなくなるものです。

これまでは70歳以上ののみが対象となっていました。4月からは70歳未満の方も同認定証の交付が受けられ、入院

の際の窓口負担が軽くなります。限度額適用認定証を利用されない方は、これまでどおり後から申請することで、高額療養費の支給を受けることができます。

交付を受けるためには

限度額適用認定証の交付を受けるためには、事前に申請が必要となりますので、役場住民生活課（3番窓口）へお越しください。代理の方でも申請することができま

す。▽持参する物 保険証、印鑑
なお、国保税の滞納がある方は原則として同認定証の交付を受けることができません。国保税は納期限までにきちんと納めるようにしましょう。

従来の制度をご利用の方

これまで受領委任払い制度を利用していた方は、限度額適用認定証への切り替え手続きが必要となります。また、現在入院中で国民健康保険標準負担額減額認定証をお持ちの方も、申請

すれば限度額適用認定証への切り替えができます。

▽持参する物 高額療養費受領委任証明書（緑色）または標準負担額減額認定証（白色）、保険証、印鑑

◆申請先・問い合わせ 役場住民生活課国民健康保険担当（☎82-3111内線124）へどうぞ。

◆自己負担の限度額

世帯の状況	1カ月当たりの限度額	
	年3回まで	年4回目以降
一 般	80,100円+ (267,000円を超えた分の1%)	44,400円
上 位 所 得 者	150,000円+ (500,000円を超えた分の1%)	83,400円
町民税非課税世帯	35,400円	24,600円

※同じ人が同じ月に同じ医療機関に支払った自己負担額です。

低所得者の介護保険料減免制度 対象となる方は お早めに手続きを

町では、収入が一定以下の方を対象に、介護保険料の軽減制度を行っています。

対象となるのは、老齢福祉年金受給者および老齢福祉年金以下の収入で、一定条件を満たしている人です（下表参照）。

保険料の減額を受けるためには、本人の申請が必要となりますので、対象となる方はお早めに手続きを行ってください。

◆問い合わせ 役場保健福祉課介護保険担当（☎82-3111内線163）へどうぞ。

◆介護保険料軽減制度の概要

区分	軽 減 の 対 象 と な る 人	軽 減 の 内 容
I	1 老齢福祉年金受給者で本人および世帯全員が非課税 2 老齢福祉年金以下の収入で、次の4つの要件をすべて満たし、生活保護を受けていない人。▶世帯全員が住民税非課税▶世帯の年間収入が120万円以下（3人目から1人につき40万円を加算）▶住民税課税者に扶養されていない▶100万円以上の預貯金など一定以上の資産を所有していない人	保険料段階第1段階の半額の保険料相当額に軽減 (年額21,600円→10,800円に軽減)
II	1 災害により著しい損害を受けたとき 2 世帯生計維持者の死亡または長期入院などで収入が著しく減少したとき 3 世帯生計維持者の収入が事業の休廃止、失業などにより著しく減少したとき 4 世帯生計維持者の収入が不漁、不作などにより著しく減少したとき	本来納めるべき保険料段階から1段階分軽減 (年額より10,800円を軽減)
III	保険料段階が第3段階で、次の4つの要件をすべて満たす人。▶世帯全員が住民税非課税▶世帯の年間収入が120万円以下（3人目から1人につき40万円を加算）▶住民税課税者に扶養されていない▶100万円以上の預貯金など一定以上の資産を所有していない人	保険料段階第3段階を第1段階の保険料に軽減 (年額32,400円→21,600円に軽減)



平成19年町消防演習

平成19年町消防演習が行われます。どうぞご覧下さい。

◆期日 4月15日(日)

◆訓練の時間と内容

【開会行事】午前8時・山田南小学校校庭 【公開訓練】田の浜婦人消防協力隊による救急訓練…午前10時・山田南小学校校庭 山田幼稚園幼年消防クラブによる遊戯と防火の呼び掛け…午前10時20分・山田南小学校校庭 分列行進…午前11時20分・国道45号(山田電機付近から阿部永商店付近まで) 放水訓練…午前11時45分・山田漁港 山田中地区自主防災会と大沢婦人防火クラブによる初期消火訓練…正午・山田漁港

消防団団員を募集します

山田町消防団では、団員を募集しています。地域の皆さんの生命・財産を守るため、消防団で共に活動しませんか。入団を希望される方は、最寄の消防団の分団長または団員へ直接お申し込みください。

◆問い合わせ 山田消防署(☎82-3139)へどうぞ。

町内で火災が多発しています

火の取り扱いにはご注意を

今年に入り、町内で火災が多発しています。平成19年3月末現在での発生件数は5件を数え、昨年1年間の発生件数3件をすでに上回っています。

特に今年は被害が大きなものが多く、建物がひどく燃えてしまったものや、火災により亡くなられた方もおられます。

これからの季節は、風が強く空気も乾燥し、ますます火災が発生しやすい状況になっていますので、火の取り扱いには気を付けましょう。

たき火や火入れをする場合には、必ず消防署の許可をとってから行うようにし、また、たき火の火やたばこの火はきちんと消えたかどうか確認するなど、火の始末にも十分に注意してください。



山田湾

アサリ漁を一般開放 潮干狩りを楽しもう

期 間 5月1日～6月15日

町内5つの漁業協同組合で組織する共有一共第111号第一種共同漁業権連合管理委員会では、条件付きで山田湾内のアサリ漁を一般に開放することになりました。

山田湾全域にはアサリ資源の繁殖保護を目的に「アサリ漁業権」が設定されており、漁業者(組合員)以外の方はアサリを採取することができませんが、一般の皆さんに春の風物詩を堪能してもら

おつと、期間や殻長制限などを定めて開放を決定したものです。次の条件を守り、潮干狩りをお楽しみください。

◆期間 5月1日～6月15日

◆時間 日の出から日没まで

◆使用漁具 くま手、しゃくし ※ジヨレンの使用は禁止と致します。

◆殻長制限 殻長2^{センチ}以下のアサリは採取できません。

◆問い合わせ 共有一共第111号第一種共同漁業権連合管理委員会(織笠漁業協同組合内 ☎82-2623)へどうぞ。

人権擁護委員に佐々木さん

人権擁護委員に豊間根の佐々木正弘さん(64)が委嘱されました。任期は4月1日から向こう3年間で、本町には佐々木さんのほかに



人権擁護委員
佐々木 正弘 さん

4人が人権擁護委員に委嘱されており、皆さんが困っている家庭内や近隣関係などの問題をはじめ、土地や交通事故などに関する相談に応じています。

▽本町の人権擁護委員 ▽佐々木正弘(☎86-2142) ▽吉田徳右工門(☎84-2549) ▽港安子(☎84-2269) ▽田代省平(☎82-2548) ▽湊多喜郎(☎82-5865)

▽問い合わせ 役場住民生活課住民相談担当(☎82-3111)内線128へどうぞ。



まちで出会ったかわいい笑顔

広報クイズ 238

三つの中から正しいものを選んで、応募してね。

- ①平成19年度の町一般会計予算の総額は〇億9,125万円？
A 65 B 56 C 55
- ②町議会議員選挙の投票日は4月何日？
A 12日 B 21日 C 22日
- ③3月18日に15,000人の来場者でにぎわったイベントは三陸山田〇〇まつり？
A ウニ B ホヤ C カキ
- ④今号の「1歳になりました」に登場している赤ちゃん7人のうち、男の子は何人？
A 5人 B 6人 C 7人

【応募方法】 はがきに①クイズの答え②住所③氏名④年齢を明記の上、応募ください。全問正解者の中から抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。応募は一人1通です。

【応募先】 〒028-1392（住所記載不要）山田町役場広報クイズ係

【締め切り】 4月20日（当日消印有効）

☆前回の正解は①-B、②-A、③-B、④-Bでした。応募者数は45人で44人が正解。抽選の結果次の10人が当せんしました。山田=湊亜紀子（12） 中央町=佐々木純子（12）、長澤佳子（39） 飯岡=生駒久子（？） 船越=山崎晶瑛（11）、村木詩音（15） 田の浜=田畑知佳（7） 大沢=大町テイ子（？） 荒川=村上博子（46） 埼玉県さいたま市=佐々木海斗（7） 〈敬称略〉

おしらせ



国保マル学保険証 4月中に手続きを

国民健康保険では、家族と離れて住む学生のために学生用の保険証を交付しています。また、既に交付を受けている人も有効期限が3月31日までですので、更新手続きを行ってください。

▷持参する物 ①合格通知書、在学証明書、入学金（授業料）領収証のいずれか一つ②印鑑 ③国民健康保険証

▷問い合わせ 役場住民生活課 国民健康保険担当（内線124）へどうぞ。



海上保安学校の学生募集します

海上保安庁では、平成19年10月に海上保安学校に入学する学生を募集します。

▷受験資格 昭和58年4月2日以降に生まれた人で、高校を卒業した人（平成19年9月までに高校を卒業する見込みの人を含む）など

▷採用予定数 船舶運航システム課程…約190人

▷試験日 5月20日（日）

▷試験地 盛岡市など

▷受付期間 4月2日～9日

▷申込用紙請求先・問い合わせ 人事院東北事務局（〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23 ☎022-221-2022）へどうぞ。



防衛庁で自衛隊の幹部候補生を募集

▷種目 自衛隊幹部候補生（一般・技術）

▷受験資格 22歳以上26歳未満の人

▷試験日 5月19日（土）

※試験会場は申し込み受け付けの際にお知らせします。

▷受付期間 4月1日～5月11日

▷申込先・問い合わせ 自衛隊岩手地方協力本部宮古地域事務所（☎63-3881）へどうぞ。



農園利用者やコンクール参加者募集

◎町民農園の利用者募集

▷貸付期間 1年

▷貸付面積 1区画50㎡

▷利用料 1区画3,000円

▷所在地 山田町飯岡7-44（さくら幼稚園付近）

▷申込期限 4月23日

◎巨大カボチャコンクールの参加者募集

▷対象 一般町民

※苗（有料）は、後日参加者に配布します。

▷申込期限 4月23日

◆申込先・問い合わせ J Aみやこ山田支店（☎82-4355）へ。



県庁で銃砲刀剣類登録審査会を開催

平成19年度の銃砲刀剣類登録審査会を開催します。美術品または骨董品として価値のある古式銃、刀剣類をお持ちの方で、登録を済ませていない方は、忘れずに登録してください。

▷開催日 4月20日、5月21日、6月20日、7月20日、8月20日、9月20日、10月22日、11月20日、12月20日、1月21日、2月20日、3月21日

▷時間 午前10時～午後3時

▷場所 県庁10階会議室

▷登録申請に必要な物 ①登録しようとする銃砲刀剣類②登録申請書（当日、会場に用意）③岩手県収入証紙（銃砲刀剣類1点につき6,300円分）④刀剣類発見化届出済証（警察署で交付）

▷問い合わせ 県教育委員会生涯学習文化課（☎019-629-6182）へどうぞ。

4月の町長面談日

▷日時 4月13日（金） 午前10時～正午

▷場所 役場4階特別応接室

※面談希望の人は役場総務課内線413へご連絡ください。



固定資産の縦覧制度のご利用を

町では、平成19年度の土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧を行います。この縦覧制度は、納税者が所有する固定資産（土地・家屋）の価格が適正かどうか判断するために、縦覧名簿によりほかの固定資産の評価額や面積などをご覧いただける制度です。ただし、所有者名や課税内容は見ることができません。

なお、地域ごとの宅地の標準的な価格は、路線価図の公開制度で閲覧することができます。

▷縦覧期間 4月2日～5月1日（土・日曜日、祝日は除く）

▷縦覧時間 午前8時半～午後5時半

▷縦覧場所 役場税務会計課

▷縦覧できる人 納税義務者、納税管理人、代理人など

※代理人の場合は委任状が必要となります。

▷問い合わせ 役場税務会計課 資産税担当（内線114）へ。



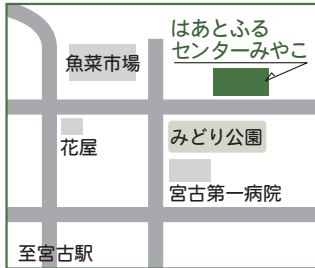
地域障害者相談コーナーが移転

キャトル4階に設置されていた宮古地域障害者相談コーナーが、新たに開設された「はあとふるセンターみやこ」内に移転し、3月1日から障害者に関する各種相談を受け付けています。どうぞご利用ください。

▷移転先 はあとふるセンターみやこ（旧山田産婦人科医院）宮古市緑ヶ丘2-3

▷業務時間 午前9時～午後6時（年末年始を除く）

▷問い合わせ はあとふるセンターみやこ（☎71-1245）へ。



山田町役場 ☎82-3111

町のホームページアドレス
<http://www.town.yamada.iwate.jp/>

農業労賃標準額を改定

平成19年度の町農業労賃標準額が次のとおり決まりました。適用期間は4月1日から来年3月31日までです。雇う人も雇われる人も標準額を守りましょう。

◆人力の部

種 別	金 額	標 準 額 （1日8時間）	超 過 額 （1時間当たり）
水 田 作 業		5,200円	810円
畑 作 業		5,200円	810円

注1 標準額は、1日実働8時間当たりの賃金とする。
注2 実働時間が1日8時間を超えた場合は、超過額を加える。
注3 畑作業のパートは、1時間当たり650円とする。

◆機械の部

	種 別	使用機械	単 位	標準額
水 田 作 業	耕 起	耕運機およびトラクター	10㌥	5,800円
	代 か き	〃	10㌥	6,700円
	く ろ ぬ り	く ろ ぬ り 機	1㌥	50円
	田 植 え	田 植 機	10㌥以上	6,300円
			10㌥未満	6,500円
	刈り取り結束	バ イ ン ダ ー	10㌥	7,000円
	刈り取り脱穀	コ ン バ イ ン	5㌥以上	15,000円
			5㌥未満	17,000円
	乾 燥	乾 燥 機	10㌥	7,000円
	脱 穀	全 自 動 脱 穀 機	1時間	4,000円
畑 作 業	転作田草刈り	特 に 設 定 な し	10㌥	5,000円
	全 般	耕運機およびトラクター	〃	5,700円
	種 ま き	コーンプランター	〃	3,000円
	刈 り 取 り	コーンハーベスター	〃	9,000円
	牧草こん包	ロ ー ル ベ ー ラ	1個	1,500円
共 通	牧草ラッピング	ラッピングマシン	〃	1,500円
	た い 肥 散 布	マニアスプレッター	10㌥	3,000円

注1 標準額には、オペレーター賃金と燃料費が含まれる。
注2 湿田の耕起、刈り取り脱穀（コンバイン）は、1,000円増しとする。
注3 田植え（田植機）は、植え付けのみとする。
注4 刈り取り結束（バインダー）の結束用縄代は、委託者負担とする。
注5 牧草こん包（ロールベアラ）の基準は1㌥×1㌥とする。
注6 牧草ラッピングは、ラップフィルム代を含む。
注7 5㌥未満の代かきは、1割増しとする。
注8 もみの運搬費用は、10㌥当たり1,000円とする。

◆問い合わせ 町農業委員会事務局（内線239）へ。

4月1日付 町職員の人事異動

◆総務課 ▷防災対策主幹（監査委員室室長）道又修▷上席副主幹（教育委員会事務局同）花坂惣二▷主任（税務会計課主事）佐々木政良◆企画財政課 ▷上席副主幹（産業振興課同）佐藤克典▷主任（地域整備課同）芳賀善一◆税務会計課 ▷会計管理者兼課長（同課課長）佐藤勝一▷収納対策主幹兼収納対策室長（同課収納対策主幹）柏谷明久▷課長補佐・課税チームリーダー（企画財政課上席副主幹）佐藤義雄▷上席副主幹（住民生活課同）上林浄▷上席副主幹（教育委員会事務局同）昆秀樹▷主事（企画財政課同）佐々木克博◆産業振興課 上席副主幹（水道事業所同）佐々木清一▷主事（図書館自動車運転手）村上学◆住民生活課 課長補佐・総合窓口チームリーダー（保健福祉課同）阿部敏博▷上席副主幹（同課副主幹）内館眞吉▷副主幹（水道事業所同）佐々木茂子▷主任（企画財政課同）川口徹也◆保健福祉課 課長補佐・福祉チームリーダー（総務課上席副主幹）尾形英一▷児童専門員（同課上席副主幹兼轟木児童館館長）鈴木洋子▷課長補佐・地域包括支援センターチームリーダー（教育委員会事務局上席副主幹）桜井俊雄▷上席保健副主幹（同課保健副主幹）昆博子▷主任（企画財政課同）白野大樹◆地域整備課 ▷主事（税務会計課同）横田龍寿◆船越支所 ▷支所長兼船越公民館館長（税務会計課上席副主幹）金濱輝男◆轟木児童館 ▷館長兼上席児童副主幹（織笠保育園上席保育副主幹）川端京子◆織笠保育園 ▷上席保育副主幹（大浦保育園同）豊間根よね子▷上席保育主査（船越保育園保育主査）山口悦子◆大浦保育園 ▷上席保育副主幹（轟木児童館上席児童指導副主幹）佐々木真由美◆水道事業所 ▷上席副主幹（鯨と海の科学館同）川部利一▷主事（産業振興課同）小成涉 ◆監査委員室 ▷室長（税務会計課課長補佐）豊間根悟◆教育委員会事務局 ▷上席副主幹（船越支所支所長兼船越公民館館長）岡市善敏▷上席主査（住民生活課主査）倉本收郎▷上席主査（同局主査）昆公夫▷主事（企画財政課自動車運転手）田畑作典◆さくら幼稚園 ▷園長（わかば幼稚園同）花坂栄◆わかば幼稚園 ▷園長（関口児童館館長）芳賀キエ◆中央公民館 ▷主幹兼館長兼図書館館長（同館館長兼鯨と海の科学館館長）阿部哲雄◆鯨と海の科学館 ▷館長（図書館館長）糠盛唱五◆消防防災課 ▷課長・鈴木正男▷上席主査・中村光宏▷上席主査・三浦正成▷主査・豊間根勉▷主任・山野目茂人▷主任・伊藤明弘▷主任・中嶋繁規▷主事・飛鳥正明▷主事・船越智▷主事・飛澤好輝◆新採用 ▷企画財政課主事補・加藤周平▷税務会計課主事補・芳賀久美子▷住民生活課主事補・阿部寛子▷住民生活課主事補・里智智見▷保健福祉課保健師・関文恵▷保健福祉課保健師・刈屋深雪▷地域整備課主事補・坂本大弥▷教育委員会事務局主事補・小原三智子◆退職《3月31日付》▷総務課防災対策主幹・内館健剛▷住民生活課課長補佐・狩野真理子▷保健福祉課児童専門員・澤口ミネ子▷保健福祉課課長補佐・昆幸利▷保健福祉課上席保健副主幹・宇澤美知子▷織笠保育園上席保育副主幹・白土恵美子▷さくら幼稚園園長・佐々木記代子▷住民生活課主事・伊藤美智子

おめでとう・おくやみ

2月届け出分（敬称略）

〔出生〕（ ）は保護者と性別

- ▷山田 藤澤真央（一仁・女）
- ▷船越 山崎玲愛（修・女）、福館真衣（裕也・女）、湊千怜（勇一・男）
- ▷織笠 小林海樹（隆広・男）、糠森理音（透・男）
- ▷大沢 千葉琳音（新・女）、伊藤光（尚生・男）
- ▷豊間根 佐々木日向（一将・男）

〔結婚した二人〕（ ）は住所

- 早野孝幸（宮古市）・福館藍（船越）
- 佐藤卓也（山田）・沢口絵里香（宮古市）
- 佐々木裕人（大浦）・甲斐谷絵里（飯岡）
- 横田秀一（織笠）・千代川美佳子（長崎）
- 高清水学（織笠）・黒沢萌子（大槌町）

〔死亡〕（ ）は年齢

- ▷山田 小林倉藏（88）、湊ヨシ子（80）、小成忠雄（56）、川村富三夫（67）、附田真臣（81）、岡市健吾（79）、佐藤源太郎（88）、上林ヒメ（83）、佐藤フミ（74）
- ▷船越 山崎しん子（55）、山崎幸江（45）
- ▷大浦 阿部コマツ（95）、川端義男（77）
- ▷織笠 東富治（85）、越田キミエ（86）、佐々木光彦（43）、中村スミ（98）
- ▷大沢 佐々木正男（80）、千代川ナヲ（90）、鈴木トメ（95）
- ▷豊間根 佐々木トミエ（72）、勝山五百子（79）
- ▷石峠 高島安雄（64）

町民のうごき

（2月1日～28日）

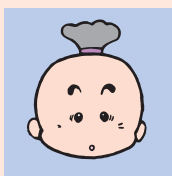
- ▷出生……9人 ▷転入……19人
- ▷死亡……26人 ▷転出……29人

- ▷人口…20,398人（今月減27人）
- 男…9,809人 女…10,589人
- ▷世帯数………7,238世帯

◆空気が乾燥するこの時期、静電気が悩みの種です。金属に触ると手に走る衝撃、しかも地味に痛い…。ドアの前で痛がつている人がいたら、きっと自分です。

◆広報担当6年目に突入しました。小学校で言えばもう最高学年。卒業？に向けて猪突猛進で紙面作りに励みたいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

幸



佐藤 周
（中央町・公一・男）



安倍 俐玖斗
（大沢・隆之・男）



太田 咲太郎
（山田・正樹・男）



佐々木 晴稀
（大沢・章人・男）



小瀬川 真先
（船越・創・男）

4月生まれ

赤ちゃん紹介
一歳になりました



小田島 侑胡
（織笠・宗史・女）



吉川 大輝
（豊間根・義浩・男）

※敬称略・（ ）内は地区名、保護者、性別です。

お買物アンケート 調査結果

ホームページなどで公表

山田町商工会（阿部幸栄会長）と山田町市街地活性化委員会（佐藤信逸委員長）では、昨年9月1日号「広報やまだ」に折り込み、多くの町民の皆さまから回答していただいた「お買物アンケート調査」の結果を公表します。調査結果は今後の商店街の方向性（コンセプト）を検討するための貴重な資料として活用されます。本調査へのご協力ありがとうございました。

◆公表方法 山田町商工会ホームページ（<http://www.shokokai.com/yamadamachi/>）に掲載するほか、山田町商工会窓口で報告書を配布します。

◆公表期間 4月2日（月）～27日（金）

※窓口での報告書の配布は、土・日曜日を除く午前8時半から午後5時半までです。

◆問い合わせ 山田町商工会（☎82-2515）へどうぞ。

山田町を舞台にした映画制作

アンケート調査にご協力を

山田の魅力発信実行委員会では、山田町を舞台にした映画制作に係るアンケート調査を実施します。映画の制作についてはまだ企画の段階ですが、町民の皆さまのご協力をお願いします。

◆提出方法 今月号の「広報やまだ」に折り込んであるアンケート用紙に回答を記入し、役場または役場各支所の窓口、もしくはお近くの役場職員が行政区長に提出してください。

◆提出期限 4月15日（日）

◆問い合わせ 山田の魅力発信実行委員会（山田町商工会内☎82-2515）へどうぞ。